



選択問題紙

経営学部 1 部（経営情報学科）

法学部 1・2 部

2025 年 2 月 11 日

10:00～11:00（60分）

注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。——

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

問題のページと解答用紙の色は下表の通りである。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史	2 ～ 8	水 色
世 界 史	10 ～ 18	緑 色
地 理	20 ～ 29	紫 色
政 治・経 済	30 ～ 39	桃 色
数 学	40 ～ 42	黄 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
5. 試験終了まで退室してはいけない。
6. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

—— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。——

7. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

問題 1，2 は必須で，問題 3，4，5 については，これらの中から 1 問を選択し，解答用紙の □ の中に選択した問題の番号を記入すること。

なお，問題 2 は，問題 A，B のどちらか一方の問題を選択し，問題 2 の解答欄にある □ の中に選択した問題の記号（A または B）を記入すること。

日本史

1

次の史料を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

二年春正月甲子の朔、賀正の礼畢りて、即ち（ ）を宣ひて曰く、

其の一に曰く、昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の屯倉、及び、別には²臣・連・伴造・国造・村首の所有る部曲の民、処々の田荘を罷めよ。仍りて食封を大夫より以上に賜ふこと、各差有らむ。降りて布帛を以て、官人・百姓に賜ふこと、差有らむ。(中略)

其の二に曰く、初めて京師を修め、³畿内・⁴国司・郡司・関塞・斥候・⁵防人・駅馬・伝馬を置き、鈴契を造り、山河を定めよ。(中略)

其の三に曰く、初めて⁶戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。(中略)

其の四に曰く、旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。(後略)

(『日本書紀』)
7

問1 この史料は、646年に4項目の政策方針が天皇の命令という形で宣布されたことを示しており、()にはその命令の呼称が入る。この政策方針は何と呼ばれるか、答えなさい。

問2 ヤマト政権に参画した豪族について誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 史料中に登場する臣・連とは、中央の豪族に与えられた姓であり、それぞれの豪族の家柄や地位を表す。

イ. 史料中に登場する伴造とは、軍事・財政・祭祀・外交などで政権に奉仕した集団の首長である。

ウ. 史料中に登場する国造とは、多くは地方豪族が任命された地方官であり、律令制下で国司となった。

エ. 埼玉県行田市の稲荷山古墳から出土した鉄剣の銘は、5世紀後半に政権の統治を支える豪族がこの地域にいたことを示している。

オ. 6世紀前半に筑紫国の磐井が新羅と結んで起こした大規模な反乱は、物部麁鹿火によって鎮圧された。

問3 これは「都の制を作り」というほどの意味であるが、やがて、畝傍・耳成・香具山の大和三山を含む、わが国最初の本格的な宮都の造営につながり、694年に遷都が実現した。この宮都名を答えなさい。

問4

(1) この区画は、のちに5力国で構成されることになり、五畿とも呼ばれた。五畿に含まれない国を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 和泉国 イ. 摂津国 ウ. 山背(城)国 エ. 河内国 オ. 伊勢国

(2) この区画の外周には、のちに7つの行政区画が設定され、七道と呼ばれた。七道に含まれない行政区画を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 東海道 イ. 西海道 ウ. 南海道 エ. 北海道 オ. 東山道

問5 防人を含む律令制下での民衆の負担について誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 租は、口分田などの収穫から約3割の稲を中央の主要な財源として納入するものである。

イ. 正丁3～4人に1人の割合で徴発された兵士の内、九州の防衛に当たったのが防人である。

ウ. 正丁には、国司の命令で工事や国府の雑用などに年60日以下に限って従事する雑徭が課された。

エ. 庸は本来労役であったが、正丁なら2丈6尺の麻布で代納させる場合があった。

オ. 公出挙とは、貧民救済のための稲の貸しつけが強制化されて税になったもので、その利率は5割程度であった。

問6 戸籍は、班田収授の基本台帳であり、律令制下では6年ごとに作成されることになっていた。689年に施行された飛鳥浄御原令に基づいて（ A ）天皇が（ B ）という戸籍を作らせたことは、この原則が確立する画期となった。

(1) （ A ）に入る語を答えなさい。

(2) （ B ）に入る語を答えなさい。

問7 この書を皮切りに、8世紀から10世紀にかけて『続日本紀』・『日本後紀』・『続日本後紀』・『日本文徳天皇実録』・『日本三代実録』という漢文・編年体の歴史書が相ついで編纂された。これらを総称して何と呼ぶか、答えなさい。



2

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

天保年間、内憂外患の時代であった。天保期が始まってまもなく、天明の飢饉後の寛政・文化・文政期と続いていた天候の安定は崩れ、諸国はきびしい飢饉¹に見舞われることとなった。1836年の飢饉は特にきびしく、幕領²においても大規模な百姓一揆³がおり、幕府は大きく動揺した。「天下の台所」といわれた大坂⁴でも飢饉の影響は大きく、民衆は大いに苦しんだが、大坂町奉行は何ら手立てを講じることはなく、大坂町奉行所の元与力⁵らによる1837年の武装蜂起⁶につながった。この事件はわずか半日で鎮圧されたが、その影響は大きく後に、越後柏崎で陣屋が襲撃される事件や、各地で大坂の事件に共鳴する一揆などがおこった。

対外問題の大きなものには、浦賀沖に接近して日米交易をはかろうとしたアメリカ商船を撃退させた事件⁷がある。この事件については、当時の学者や知識人らの批判を浴びたが、幕府はそれら批判については厳しい処罰⁸で対処した。

問1 飢饉に備えて各地に社倉・義倉をつくらせて米穀を蓄えさせる制度を何というか、2字で答えなさい。

問2 幕領は勘定奉行が統括し、関東・飛騨・美濃には（ A ）が派遣された。（ A ）に当てはまるものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 遠国奉行 イ. 大目付 ウ. 郡代 エ. 城代

問3 17世紀末になると、村の代表者のみが村の要求をまとめて領主に直訴するのではなく、村全体による百姓一揆が各地でみられるようになった。このような一揆を何というか、答えなさい。

〔解答欄〕 _____ 一揆

問4 諸藩・旗本などが、年貢米や特産品などを販売するために大坂などにおいた、倉庫兼取引所を何というか、答えなさい。

問5 この武装蜂起の首謀者である大坂町奉行所の元与力は誰か、答えなさい。

問6 この事件を何というか、答えなさい。

〔解答欄〕 _____ の乱

問7 1837年に起きたこの事件に関連して、次の問いに答えなさい。

(1) このアメリカ商船を下から選び、記号で答えなさい。

ア. サン・フェリペ号 イ. リーフデ号 ウ. フェートン号 エ. モリソン号

(2) このアメリカ商船の撃退は、何という法令にもとづいて行なわれたか、答えなさい。

〔解答欄〕 _____ 令

問8 1839年に幕府が渡辺崋山や高野長英らを逮捕し処罰した事件を何というか、答えなさい。

3

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

1792年にロシア使節としてラクスマンが、1804年には同じくレザノフが相次いで来港し、幕府に通商を求めたが、幕府はこれを拒否した。¹
翌年のレザノフの退去後、日露関係はロシア軍艦による樺太・択捉島襲撃によって一時険悪になったが、1811年に起きたゴローニン事件を機に改善された。²

1853年、ペリー来航後にプチャーチンが来航し、開国と国境の画定を要求すると、幕府は、翌年再び来航したプチャーチンとの間に日露和親条約を結んだ。この条約は、日米和親条約で認めた下田・箱館のほか³に（ ）を加えた3港を開港し、国境については、千島列島のうち、北方4島を日本領、得撫島以北をロシア領とし、樺太は従来通り境界を定めないことなどを内容としていた。

明治維新後、政府は、1875年の樺太・千島交換条約で、樺太にもっていた一切の権利をロシアにゆずる代わりに、千島全島を領有することとなった。さらに、日露戦争の講和条約として結ばれたポーツマス条約では、北緯⁴（ ）度以南の樺太と付属諸島をロシアから譲渡された。しかし、太平洋戦争末期の1945年8月、ソ連は⁵日ソ中立条約を無視して満洲・朝鮮に侵攻し、最終的には南樺太と、北方4島を含む千島全島をも占領した。

太平洋戦争後の1956年、⁶サンフランシスコ平和条約に加わらなかったソ連との間に⁷日ソ共同宣言が結ばれ、国交が正常化した。その際、日本は、北方4島について、日本固有の領土としてその返還を要求したが、ソ連は⁸（ ）の帰属については解決済みとの立場をとり、他の2島の日本への引き渡しも平和条約締結後のことと主張してゆずらなかった。その後も、両国の間に平和条約は締結されておらず、北方領土問題は未解決のまま、現在に至っている。

問1 この間、幕府がとった施策として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 東蝦夷地を直轄地とし、そこに居住するアイヌを和人とした。
- イ. 八王子千人同心100人を蝦夷地に入植させた。
- ウ. 老中田沼意次によって蝦夷地の開発が計画された。
- エ. 近藤重蔵・最上徳内らに択捉島を探査させ、「大日本恵登呂府」の標柱を立てさせた。

問2 (1) この間、幕府がとった施策として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 間宮林蔵に樺太とその対岸を探査させた。
- イ. 松前藩と蝦夷地をすべて直轄地とした。
- ウ. 松前奉行を廃止して新たに箱館奉行を置いた。
- エ. 東北諸藩を北方警備にあたらせた。



(2) ロシア海軍士官ゴローウニンの捕縛・抑留の報復としてロシアに抑留され、日本送還後に彼の釈放に尽力した淡路の商人を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 高田屋嘉兵衛 イ. 大黒屋光太夫 ウ. 角倉了以 エ. 津太夫
オ. ジョン万次郎

問3 空欄に適する語を答えなさい。

問4 空欄に適する語を答えなさい。

問5 この条約を結んだ日本の外務大臣を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 重光葵 イ. 野村吉三郎 ウ. 東郷茂徳 エ. 松岡洋右 オ. 広田弘毅

問6 この条約が結ばれた年を西暦で答えなさい。

問7 みずからモスクワを訪問し、この条約に調印した日本の総理大臣を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 吉田茂 イ. 鳩山一郎 ウ. 石橋湛山 エ. 岸信介 オ. 河野一郎

問8 空欄に適する語を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 歯舞群島・国後島 イ. 歯舞群島・色丹島 ウ. 色丹島・択捉島
エ. 国後島・択捉島

4

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

日本経済は1955年頃から高度経済成長期に入った。年平均10%前後の経済成長をとげ、¹資本主義国屈指の経済大国となった。

この経済成長を牽引した主役の一つが膨大な設備投資であった。²重化学工業を中心にアメリカの技術革新の成果を取り入れた設備の更新が進展した。技術革新は中小企業にも波及し、³政府も様々な形で中小企業の構造改善を図った。また、1955年には⁴日本生産性本部が設立され、生産性向上運動が展開された。

この時期に進展した⁵エネルギー革命は高度経済成長を支える重要な条件となったが、⁶これによって衰退した産業では労働者が大量に解雇された。労働者側はこれに反対し、激しい労働争議を展開したが敗北に終わった。

一方、労働生産性の上昇、若年層を中心とする労働者不足、労働運動の展開により、労働者の賃金は大幅に上昇した。また、この時期は⁷農業所得も増加した。労働者間、都市・農村間の所得格差が縮小したこともあり、⁸消費が拡大し、これも高度経済成長の要因となった。

高度経済成長期に多くの人々の生活が向上したが、一方で、過疎・過密、⁹公害などの社会問題が深刻化した。

問1 1968年の時点において、GNPが日本を上回っていた国を下から選び、記号で答えなさい。

ア. イギリス イ. フランス ウ. カナダ エ. スウェーデン オ. 左記に正解はない

問2 重化学工業に含まれない産業を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 自動車産業 イ. 鉄鋼業 ウ. 造船業 エ. 紡績業 オ. 電気機械産業

問3 中小企業の構造改善推進を目指し、1963年に制定された法律を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 工場法
イ. 中小企業近代化促進法
ウ. 過度経済力集中排除法
エ. 独占禁止法

問4 この時期の日本生産性本部について誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 財界諸団体によって設立された。
イ. 設立にあたり政府の援助を得た。
ウ. 労使協調・失業防止・成果の公正配分という生産性3原則を掲げた。
エ. 国内需要の低迷に対応するため企業の海外進出を推進した。
オ. 無欠点運動や品質管理運動など小集団活動に代表される運動を推進した。



- 問 5 高度経済成長期のエネルギーに関して正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 中東からの安価な原油供給により石炭から石油への転換が進んだ。
 - イ. アメリカの事故を受け、政府による脱原子力の動きが加速した。
 - ウ. 公害の進展に対応するため水力発電が推進された。
 - エ. 猪苗代・東京間の長距離送電が開始され東京の電力事情が改善した。
 - オ. 全国を9ブロックに分けて運営する電力国有化が進み電力の安定供給が実現した。
- 問 6 このうち1960年に福岡県で起きた大規模な労働争議を何というか、答えなさい。
- 問 7 高度経済成長期の農業の特徴として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 都市への人口移動に伴い余った土地を取得した豪農が大規模・効率的な生産を進めた。
 - イ. 大豆粕などの新たな肥料の普及が進み、単位面積当たりの収穫が増加した。
 - ウ. 政府の減反政策により、織物業から農業への転換が進んだ。
 - エ. 農外収入を主とする第2種兼業農家の割合が増加した。
 - オ. 上記に正解はない。
- 問 8 高度経済成長期の消費の特徴として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 1960年には電気洗濯機や電気冷蔵庫の普及率が90%を超えた。
 - イ. 普及が進んだ自動車、カラーテレビ、コンピュータが3Cと呼ばれた。
 - ウ. 週刊誌の発行部数が拡大し、特に『キング』の発行部数は100万部を超えた。
 - エ. テレビCMにより購買意欲がかき立てられ、消費を美徳とする風潮がうまれた。
 - オ. 上記に正解はない。
- 問 9 いわゆる四大公害病のうち、神通川流域に排出されたカドミウムを原因とするものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 新潟水俣病 イ. 四日市ぜんそく ウ. イタイイタイ病 エ. 水俣病

(こ の ペ ー ジ は 白 紙 で す)